

01

INVESTMENT

投資事業を通じた地方創生



地域金融機関との 新たな価値の「共創」

川島 克哉

SBIホールディングス 代表取締役副社長

SBIインベストメント 代表取締役執行役員社長

Katsuya Kawashima

「投資」「導入」「拡散」という基本戦略

SBIグループは創業以来、新たな技術を先んじて活用することで成長を遂げてきました。フィンテックやAI、ブロックチェーンに代表される次世代の技術開発が進展している現在は、更なる成長に向けた絶好のチャンスだと捉えています。そのためベンチャーキャピタル事業を展開するSBIインベストメントは2015年12月に、業界初となるフィンテック関連の事業を手掛けるベンチャー企業への投資に特化した「Fintechファンド」(出資約束金総額300億円)を設立し、フィンテック関連企業の発掘と育成に取り組んできました。またAIやブロックチェーンを金融分野に限らず様々な産業での活用が想定される将来性の高い技術であると捉え、それらの分野を主な投資対象とする「SBI AI&Blockchainファンド」を2018年1月に設立しました。当初は200億円規模で投資をスタートしましたが、最終的な出資約束金総額は600億円にまで拡大しています。

こうしたファンド運営においては、単に金銭的なリターンのみを追求するのではなく、当社グループ・ファンドへの投資家・ファンドからの投資先企業といった全ての関係者へ付加価値を提供するという目的もあります。例えば、フィンテックベンチャー企業は我々が持っていない優れた技術を持つ一方で、資金面の支援やビジネスパートナーを必要とするケースが数多くあります。そういった

企業に対しては、金融サービスを提供する当社グループ各社において投資先企業の技術を積極的に導入するなど成長を支える体制や仕組みがあります。また、2つのファンドにご出資いただいているのは主に地域金融機関ですが、そういった投資家の皆さまからしても単独ではリーチしづらいベンチャー企業との提携や新技術の導入などの機会が生まれます。地域金融機関にとっては単に投資する以上の意義を理解していただけていると思います。

こうした付加価値を生み出せているのは、当社グループの祖業の1つとして20年間にわたり取り組んできたベンチャーキャピタルの知見やノウハウ、投資対象となる企業の選定業務であるソーシング力をグループ内で連携して蓄積してきたからであり、それらが強みとなっています。この強みとグループ各社の連携によって、ファンドを通してベンチャー企業へ「投資」し、グループ内で投資先企業の技術・サービスを「導入」することで検証し、そしてご出資いただいた地域金融機関など外部へ「拡散」という基本戦略が実行できています。

SBIグループが提供する新技術やサービスを拡散

現在、長引くマイナス金利政策や、フィンテックによる金融イノベーションの進展、高齢化・人口減少社会の到来など、地域金融機関にとっては、厳しい経営環境が続いています。このような

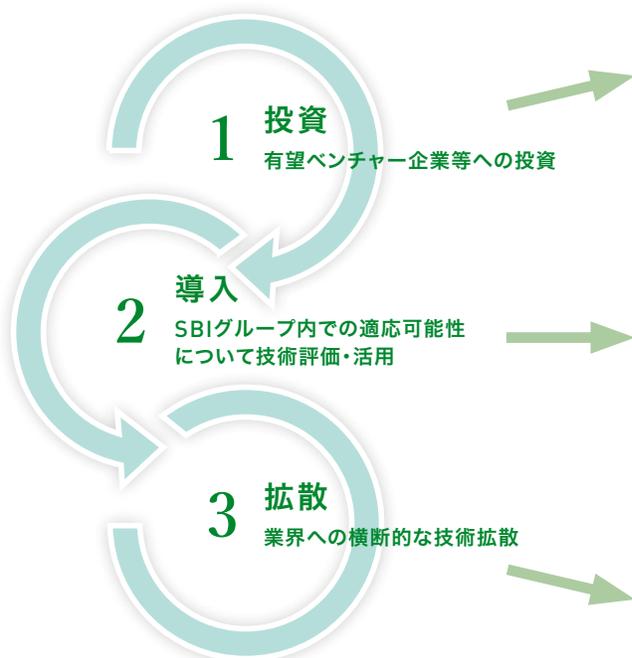
局面において、フィンテック関連の新技术の導入や新サービスの提供は、各金融機関が抱える課題解決に貢献できるものと考えています。

最近では当社グループと地域金融機関とのつながりがぐっと深まっていますが、こうしたつながりは、フィンテック関連のベンチャー企業が強く求めているものの一つでもあり、SBIインベストメントはベンチャー企業と地域金融機関との橋渡し役を担っていきたくと考えています。一方でグループ各社や投資先企業の商品・サービスなどの情報は多岐にわたるため、今後、こうした橋渡し役を担っていくために、SBIネオファイナンシャルサービスにそのようなソリューションを集約し、効率的に必要な情報をタイムリーに届けられ、地域金融機関が求めるソリューションを提供できるような体制の構築を推進していきます。技術の導入に際しては、SBI FinTech IncubationがオープンAPI(参照:P.63用語集)で、アプリケーションとしてサービスを導入できる仕組みを提供しています。更には、このように金融機関向けに

最先端の技術やサービスを提供するだけでなく、金融機関の顧客にまで新技术を活用した質の高いサービスを提供することで、地域産業の活性化にも貢献していきたくと考えています。

もう一つ、地方創生に向けた新たな取り組みとして、2019年2月に設立したSBI地域事業承継投資が運用・管理する事業承継ファンドがあります。昨今では中小企業の事業承継が社会問題になっています(参照:P.63用語集)。SBI地域事業承継投資は、今後組成する予定の事業承継ファンドを通じて、後継者問題を抱える中小企業に対して出資を行い、当社グループの経営資源や地域金融機関、公的機関とのリレーションシップを活かし、円滑な事業承継の実現を目指します。また2018年12月には、SBIインベストメントの投資先であり、M&Aプラットフォームを運営している(株)トランビとSBI証券が業務提携し、事業承継・M&A支援サービスの提供を開始しています。こうした取り組みを通じて、当社グループの事業成長のみならず、地方経済の活性化、延いては地方創生に貢献していきます。

SBIグループの基本戦略の3つのプロセス



SBIグループ内での仕組み

SBIホールディングス・ SBIインベストメントを中心とする プライベートエクイティへの投資事業

- ・ 成長分野に特化する集中投資戦略
- ・ 資本のみならず知識・戦略の提供

金融サービス事業

- ・ フィンテック1.5: 既存の企業生態系を活かしながらWebベースでブロックチェーンの活用をスタート
- ・ フィンテック2.0: ブロックチェーンの独自アプリケーションを開発

SBIグループ全事業

- ・ 新技术を提供する子会社や関連会社の設立等
- ・ グループ外企業とのアライアンス強化